



造形および表現領域における 材料研究と教材研究

人間科学部
子ども教育学科
講師

富永 剛



研究シーズの紹介

造形および表現の授業の在り方や進め方を検証するため、2つのテーマを設けて研究しています。

A. 【材料の特性を生かした造形活動】

現在の幼児教育における造形分野では、社会変化とともに多様な材料が用いられています。自然素材から人工のものまで、素材の持つ可能性を探究していくことが、これからの造形教育を深化させ、子どもの感性を豊かにしていくことに繋がると考えられます。

B. 【子どもの豊かな感性を育むための子育て支援】

実践的な教材開発とその指導法研究の一環として、子育て講座「なぐり描きをしよう!」を九州産業大学子育て支援室を利用する親子を対象に実施しました。



A. 素材の可能性を広げる!

- 実際に使われていた“扉”を使った作品「REELS」



B. 子育て支援(地域連携)!

- 子どもが自由に表現することをねらいに、親子で楽しむことができる活動を展開

A. 個展「富永 剛-REELS-」(於: アートスペース猿)



B. 子育て講座「なぐり描きをしよう!」

子どもの「描きたい」という想いに寄り添うことを講習のテーマとし、九州産業大学子育て支援室を利用する親子を対象に子育て支援室を利用する親子を対象に体験型の講座を実施した。講座の前半では、子どもの造形表現の発達について保護者に向けて解説し、発達に即した子どもの表現を理解してもらった。造形体験では、親子と一緒に造形遊びを楽しむことで、普段では見られない子どもの様子を伺うことができ、子どもの理解に繋げることができた。

○参加者感想(抜粋)／想像以上に、子どもが興味を持って取り組めて嬉しかった。他児への興味も強く、年齢が異なる子が描いている姿もとても刺激になったようで良い経験になった。家ではここまでダイナミックには出来ないで親子でたのませて頂きました。／パステルを初めて使いましたが、発色がよく楽しかったです。息子はたくさん色から選ぶこと、カラフルなつみきのようにパステルどうしをぶつけてあそぶことが楽しかったようです。とてもきれいな色で私もワクワクしました。ありがとうございました。／自宅ではなかなか経験させてあげられないことができて、子どもも楽しんでくれたのがよかったです。好きなようにかかせてあげることが大切なんだと勉強になりました。ありがとうございました。／家でたまにらくがきをさせます。なかなかかいてくれないあとやきもきしますが、むりじいせずに、ゆったりとおえかきを見守ろうと思いました。

期待される活用シーン

A

- 多様な表現を見たい
- 素材の可能性を知りたい



幼児教育において素材の可能性を広げていくことは、子どもの感性を豊かにしていくことに繋がります。



B

- 子どもの造形活動の実践例を知りたい
- 子どものことを理解したい



今後も継続的に子育て講座を実施し、地域の子育て支援に貢献していきます。

